

新 消防長・消防団長 ご紹介



発行人
公益財団法人 愛媛県消防協会
松山市築山町1番35号
電話(921)8517番
会長 土居 敏夫
一部52円

平成29年度全国統一防火標語
火の用心
ことばを形に
習慣に

松山市消防局長

鵜久森 政則



四月一日付けをもちまして、松山市消防局長を拝命しました鵜久森政則です。
南海トラフ巨大地震が危惧される中、消防に寄せる住民の期待は益々大きくなっています。
今後におきましても、消防団を中核とした関係機関との連携を図り、地域防災力の向上に取り組んで参りますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

今治市消防本部消防長

山崎 秀喜



この度、四月一日付けをもちまして消防長に就任いたしました。
消防職員一同、これからも消防団の皆様との連携強化を図りながら、市民の安心安全を守るため、専心精励して参る所存でございますので、今後とも前任者同様ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

愛南町消防本部消防長

若林 弘武



この度、四月一日付けをもちまして、愛南町消防長を拝命いたしました若林弘武です。
地域防災力向上のため、消防団・自主防災会並びに関係機関との連携を蜜にして、安心安全で過ごせる町づくりを職員一丸となつて目指していく所存でございますので、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

大洲地区広域消防事務組合消防本部消防長

成見 一二三



四月一日付けをもちまして大洲地区広域消防事務組合消防長を拝命いたしました成見一二三です。
地域防災力向上のため、消防団・自主防災組織との連携をさらに強化し、住民の皆様が安全・安心に過ごせる町づくりを目指し、職員一同専心精励いたす所存でございます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

伊予市消防団長

亀岡 誠



この度、平成二十九年四月一日付けをもちまして、伊予市消防団長を命ぜられた亀岡誠です。
近年の災害では、東日本大震災、新潟県糸魚川市における大火など全国で予期せぬ災害が発生しており、これからの各種災害に対する消防団の役割は、一層重要となり、消防団に対する市民からの期待もますます高まっているところであります。
これらの期待に応えるべく、地域防災の要となる組織であることを自覚し、常備消防との連携を保ち、地域の安全を守るよう消防団の活性化に努めて参る所存であります。今後とも、関係各機関、各位の皆様方には益々のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

伊方町消防団長

吉田 兼治



この度、四月一日付けで、伊方町消防団長を拝命しました吉田兼治です。
「自分たちの地域は自分たちで守る」という消防団精神のもと、常備消防、自主防災組織との連携を密にし、地域住民の皆様への負託にこころを込めて参ります。関係機関の皆様には、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

鬼北町消防団長

二宮 悟



四月一日付けをもちまして鬼北町消防団長に就任いたしました二宮悟です。
消防団長を拝命し、責務の大きさに身の引き締まる思いです。「住民の生命・財産を守る」このことを大原則に、町内各地区自主防災組織との連携強化を図りながら「安心・安全」な町づくりに努めて参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

愛南町消防団長

松岡 増幸



この度、四月一日付けをもちまして愛南町消防団長を拝命いたしました松岡増幸です。
「災害は他人事ではない！」本町においても、南海地震や大雨災害等はいつ来てもおかしくない状況である中、住民の期待と負託に応えるべく努力してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで 消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る MORITA 消防ポンプ自動車No.1メーカー



新基準活動服 新基準による消防団員活動服



SHIBURA 消防ポンプ・防災機器 シバウラ可搬消防ポンプ



ジェットホース 操作大会最適ホース コンペVシリーズ

(株) 岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116 高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyoukai.co.jp

- 点検・報告・整備・工事
 - 消防用設備等・特殊消防用設備等
 - 防火対象物点検・防災管理点検
 - 防火設備点検
 - 連結送水管の配管耐圧試験
 - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
 - 各種消火器
 - 住宅用火災警報器
 - その他各種防災用品
 - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～



〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号
電話 (089)934-4800
FAX (089)934-5533
E-mail : yons@ss4800.jp

支部だより

伊方町消防団



平成二十八年十月十四日、長野県で開催された、第二十五回全国消防操法大会にポンプ車操法の部の二番員として出場しました。

私は地域の活動に参加することで地域に貢献したいという思いから、地元で就職し、二十一歳で伊方町消防団三崎分団に入団しました。当時の私にとって消防団としての活動は想像していたより活発で、ついでいくの



伊方町消防団 団員 石本 学

り、消防活動の充実発展に寄与することを目的としているものです。

女性消防団だより



松山市消防団女性分団 分団長 高橋 眞由美

平成十四年四月に六十名でスタートし、翌年の九月には「全国女性消防団員活性化愛媛大会」で手話を使った「心肺蘇生法」を披露しましたが、十五年

経ちますと九十名の女性団員もいろいろな顔ぶれとなり、大半が仕事を携えているという現実があります。

後方支援や啓蒙活動は発足当初から続けていますが、平成二十三年度に作成した「女団入団マニュアル」に盛り込む「応急手当指導員資格」を取得し、救急隊員と行う市民向け救命講



に自分のできるのかという不安な気持ちもありましたが、自身を試す良い機会と捉え、ポンプ車操法の選手として大会に出場することとなりました。練習を開始した当初は、先輩方から、気を付けの姿勢や首の角度、指の先まで細かく指導され、日が経つにつれてホース展開や歩数の調整など指導の厳しさとともに不安が更に増して

な技術を身に付けていくことで、自然と気持ちは前向きになり大会に臨むことができました。そして入団してから十年、ポンプ車操法の選手として五度目の大会で、念願の全国大会に出場することができました。団の仲間からの支援や協力、地域の方からの声援を受け、沢山の方々の「想い」を胸に臨んだ大会でありました。結果は十二位と上位入賞にはなりませんでしたが、この大会で得たものは、

それ以上のものだと思っています。このような活動を通じて、必死に取り組んできた十年間は、私自身を成長させる大変貴重な時間であり、良き仲間と過ごしたかけがえのないものであったと思います。

自主的な勉強会を含めると、入団当時に言われた「年間二、三回出るくらい」は何だったのでしょうか?と、思うこともあります。

今後、発生が危惧される大地震に備え、今取り組むべき活動を自分たちで協議・検討し実践しています。昨年度末までには現場の最前線で活動する男性団員に、女性団員が応急手当やAEDの使用方法を指導する救命講習会を方面別で開催しました。大規模災害時における避難

一般住民の防災活動等

「ぼうさいじょ」と共に



西条市防災士連絡協議会 女性部 部長 木藤 容子

私は、松山市から西条市に移り住んで、約三年が経過しました。

元々地域での防災活動にも興味があり、防災に関して、もっと深く知りたいという思いから、防災士の資格を取得しました。

「防災士として何ができるのか?」と、私はいつも考えていました。そんな時、東日本大震災が発生、被災地の惨状が連日

のように報道され、私と同じ女性たちが避難所等で辛い思いをしているのを目にしました。女性の視点で自由な発想を活かせれば」という思いが私の中に芽生えました。防災士としての私の決意が固まった瞬間でした。



女性部としての活動をスタートするにあたり、部員間で今後の活動について話し合いました。女性部の認知度の向上・活動に興味を持ってもらうことを主眼に置くこととし、記念すべき最初の活動となったのは、テレビ局が主催する「ふるさとCM大賞えひめ二〇一六」に応募することでした。チーム名を「防災・西条・女子」の頭文字をとり「ぼうさいじょ」としました。



することが出来たのです。そして何よりの収穫は、部員間のやる気と絆がより強くなり、「ぼうさいじょ」として素晴らしいスタートとなった事でした。



今後起こりうる大規模災害に際し、一人でも多くの方達に、災害に対する知識や技術を身に付けていただくため、女性の視点を活かしながら、精力的に活動していきたいと思っております。

Advertisement for Yamada Pump Co., Ltd. featuring a red pump and various products. Text includes '最強コンビ' (Strongest Combo), 'ポンプ操法' (Pump Operation), and '株式会社 ヤマダ' (Yamada Co., Ltd.).

第四十三回 消防団幹部特別研修

第四十三回 消防団幹部特別研修に参加して

上島町消防団

副団長 柏原 伸一郎



東京都港区虎ノ門の日本消防会館において平成二十九年一月十日から三泊四日の日程で開催された第四十三回消防団幹部特別研修には、厳冬の北海道から早春の沖縄まで全国四十七道府県からそれぞれ一名の団長または副団長が研修生として参加されていた。消防団の規模も正副団長の年齢層もまちまちで、上は七十三歳から下は四十五歳まで幅広い構成であったが、特別研修を含め、大変和やかな雰囲気での研修であった。

今回の研修は、日本消防協会秋本会長の「消防団をめぐると題する講話から始まり、各講師の先生方による「災害情報学」、「地下鉄サリン事件対応の経験と反省」、「熊本地震での活動事例報告」、「危機管理」、「消防防



政」、「防災対策」、「消防団実務」、「火災防衛」、「惨事ストレス対策」等の講義で大変参考となる内容だった。これらの講義の中に共通していたことは、団員の安全確保対策と情報の収集、共有及び伝達方法確保の重要性が言われていたことだった。

る。消防団員の使命感から「最後の一人まで・・・」の結果だったのかもしれない。震災直後から道路が寸断され、全く灯りがなく携帯電話も使用できず、情報収集が困難となり情報が本部に集まらないこと、そのため組織だった消火・救助活動が出来なかつたとも話されていた。これは、今後起こりうる南海トラフ大地震に対する対応策を考えるうえで大変参考になることではないかと思う。

な問題点として、情報収集、消火・救助活動や指揮命令のため伝達手段の確保が不可欠との認識から車載無線機や携帯用デジタル無線機の整備が急がれるとした。また、団員の安全対策としては、大規模災害対応マニュアルの作成及び団員への周知、新人団員への安全教育の徹底が必要であると結論付けた。

最後に、研修に入る前は三泊四日の研修は長いと思つたが、内容が濃密で期間があつたという間に過ぎてしまった。研修期間がもう少し長くてもいいかなと感じた。

第十六回 消防団幹部候補中央特別研修

第十六回消防団幹部候補中央特別研修に参加して

上島町消防団

団員 久保 泰嗣



この度、平成二十九年二月一日から三日の間、日本消防会館で開催された第十六回消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。

研修内容は、初日の日本消防協会秋本会長の講話からはじまり、神戸大学室崎名誉教授、熊本県西原村馬場消防団長、総務省消防庁の方など消防防の分野で活躍されておられる方々の講話がありました。また、三日通してのグループ討議も行われました。

この研修を通して、多くの仲間が全国各地でそれぞれの地域のために頑張っていることを再認識できたことと多くの友人ができたことに感謝したい。

講義においては、地域消防の今後の情勢、立ち位置の変化、国の取組などの説明、東日本の震災、広島の土砂災害、熊本の震災などの映像や資料などによる解説などもありました。私自身、昨年、熊本地震で職場の三名と共に瓦礫撤去のボランティアに行った経験があり、実際に訪れた場

所の被災直後の映像や写真を見るにつけ色々考えさせられる場面もありました。熊本市西原村消防団の馬場団長の講話では、災害発生時に西原村における活動状況のこと細かく時系列ごとに説明していただき、その中に、倒壊家屋からチェンソーなどを用いて被災者を救助する訓練を実施しており、それが実際の災害において人命の救助につながった例などを聞き、常日頃からの訓練の必要性を改めて知らされました。また新たな取り組みとして、各消防学校にオフロードバイク、偵察用ドローンを配備し、講習を経て、各消防団に配備していくということでした。

グループ討議において私たちは「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」というテーマの元、各地域の消防団の状況、工夫、問題点など様々な話し合いをおこないました。その討議のなかで印象に残った二点を書き出しておきます。

一つは、団を中核にした地域防災力の充実強化をおこなうには、まずは団員を確保することが重要と言うことで、東広島市が実施しているの

そうである。大規模災害時における団員の長期間出動の報酬についても検討が必要とのことだった。

最後に、この研修に参加する機会を与えていただいた関係者各位に感謝いたしますと共に、研修で学んだ知識をこれからの消防団活動に活かしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

<http://www.ogawa-pump.co.jp>
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)

豊富な収納力が1台2役分の活躍を。
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。
コンパクトにまとめたCD-I

小川ポンプ工業株式会社 愛媛支社
〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

扱いやすさとタフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ
FT500 B-2級
FT450 B-3級

Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi B-2級
FF450ZXi B-3級

SHIBAURA

信頼と実績のキャブレタシリーズ
水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

第十六回消防団幹部候補中央特別研修に参加して

砥部町消防団

団員 竹内 亮二



平成二十九年二月一日〜二月三日までの三日間、東京の日本消防会館で開催された第十六回消防団幹部候補中央特別研修に参加し、勉強させていただきまし

た。私の所属した第十班は、⑤の「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」、十三名の班員と協議しました。また、他の講師による講義や各

第十六回消防団幹部候補中央特別研修を終えて

松山市消防団

班長 石丸 ちえみ



研修一日目の開演式では日本消防協会秋本敏文会長の熱い講義があり、地元消防団と照らし合わせながら拝聴しました。開演式後は、十班のグループに分かれ、三日間課題討議を行いました。討議内容は、①「若年層の団員確保対策について」②「サ

ラリーマン化が進む中での効果的な活動方策について」③「消防団の訓練のあり方について」④「消防団活動の問題点と解決策について」⑤「消防団を中核とした地域防災力の充実強化対策について」を討議し、最終日に課題発表及び講評を行いました。

防団として活動されたお話しは、そのご苦労と消防団の重要性が強く伝わるものでした。危機管理演習では、震度六強の地震発生を想定して①現状の予測②あなたの対応③悩み・課題を記入しました。「震度六強の地震とは、人が立つていられず、木造建物は倒れる」などの説明を受け、大きな災害を体験していません。私には、多くのことに悩みと不安を感じました。

研修最終日の午前中には三回目的課題討議を実施した後、「災害と情報」静岡大学防災センター牛山教授の講義と、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化」消防庁中野地域防災室長の講義を拝聴いたしました。午後には消防庁伊勢村専門官を講師に、課題討議の発表と講評がありました。私は「消防団組織・活動内容を広く理解してもらうために、民衆を利用したPR活動の推進」などの討議内容について、班を代表して発表させていただきました。そして、日程最後に閉校式が行われ、全国の研修生との別れを惜しみながら愛媛に戻りました。

研修を振り返って

内子町消防団

分団長 山田 満治



平成二十九年二月一日からの三日間、東京虎ノ門にある日本消防会館において、中央特別研修に参加させていただきまし

た。初日は開校式・写真撮影、秋本会長の講話、そして、十の班に分かれ、課題討議が行われ、若年層の団員確保対策について」というテーマで意見を出し合いました。班長を任命されていた私は、その進行と取りまとめを努めました。

二日目は課題討議から始まり、「地域防災力の強化と消防団」神戸大学 室崎名譽教授の講義、熊本地震を体験された熊本県西原村消防団 馬場団長による活動事例の報告、危機管理のトレーニングが行われました。実際に大災害を体験され消

防団として活動されたお話しは、そのご苦労と消防団の重要性が強く伝わるものでした。危機管理演習では、震度六強の地震発生を想定して①現状の予測②あなたの対応③悩み・課題を記入しました。「震度六強の地震とは、人が立つていられず、木造建物は倒れる」などの説明を受け、大きな災害を体験していません。私には、多くのことに悩みと不安を感じました。

研修では様々な講師の講演を聴くことで、消防団員の立場を

さらに、今回の研修の中で「防災教育」という言葉を多く聞きました。それは誰か特別な人だけが防災力を身に付けるというものではなく、個人ができる防災力を身に付けることこそ重要で、それぞれがそれぞれできることに繋がっていくという考え

方です。そこで「ぼうさいダック」ご当地バージョン作戦を提案します。すでに「ぼうさいダック」は、全国各地で実施されていますが、ご当地ゆるキャラバージョンを各消防団で作成して

更には、この期間中に「意見交換会」や有志で交流する機会があり、さまざまな話をする中、消防団員としての熱意を感じるとともに、苦悩を共有しました。私と共通の課題を抱えた地域もあれば、特色ある地域もあり、新鮮かつ楽しい研修となりました。今回体験したことは、私にとって大変貴重な財産であり、この研修を糧とし、地域の安全安心のために努めてまいります。この機会を与えていただいたことに感謝いたします。

第十六回消防団幹部候補中央特別研修に参加して

砥部町消防団

団員 越智 摩奈美



二月十五日から十七日までの三日間、各都道府県から参加した約百名の女性消防団員と消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。

講義では、いろいろな観点から女性消防団員について教えていただき、その中でも障がいを持った方々との防災訓練や子どもに対する危機管理教育の指導などはとても参考になり、自分

たちの町でも行いたいと思えました。また、グループ討議の時間がとても有意義で、一グループ十人のメンバーで構成され、課題に対し話し合い、結果を発表しました。私のグループは「女性消防団員による新たな消防団員活動の展開について」でした。始めに自己紹介と各地域の女性消防団員活動の問題点や悩みを紹介しました。そこでは「女性消防団員ならではの決まった活動ができていない」、「火消までは望んでいないが、現場で女性ならではの活動がしたい」

「紙芝居や講演で防火防災啓発活動をしている。」など全国の女性消防団員の活動に対する温度差を垣間見ることができました。私たちの班の結論は、「現場は危険だから女性は不要、ではなく女性だからできるサポートを認めたらできるよう働きかけよう。」女性消防団員になったら、こういうことをするかどうか。ということになりました。

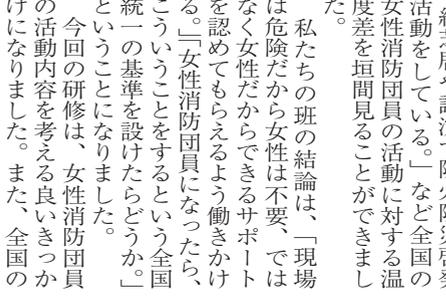
今回の研修は、女性消防団員の活動内容を考える良いきっかけになりました。また、全国の



女性消防団員の活動や研修で学んだことを参考に、自分の町の活動に取り入れていければと思います。

皆さんこんにちは、愛媛県消防協会の山西です。新年度が始まり皆さまもお忙しくされているのではないのでしょうか？消防協会では長年勤められた営主事が退職、新しく職員が入社し新体制となりました。まだまだ経験の浅いものばかりですが本年度もよろしく願います。

事務局長 田所慶子 主事 土居敬夫 協理 新野涼子 主事 山西勝之



女性消防団員の活動や研修で学んだことを参考に、自分の町の活動に取り入れていければと思います。

女性消防団員の活動や研修で学んだことを参考に、自分の町の活動に取り入れていければと思います。

各種消防ポンプ車
防災用品
各種消防設備
販売

消防防災設備
給排水設備
設計・施工・保守

新日本フック

株式会社ナカムラ
消防化学代理店

ヤマトプロテック
株式会社代理店

http://www.sn-ht.com

南予営業所
〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130
tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社
〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号
tel.089-908-5766 fax.089-908-5767